

## シバンムシ類

シバンムシ類												発生時期
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	

シバンムシ類は、貯蔵穀物、ビスケット、コーヒーなど100種をこえる広範な食品類を加害する害虫として世界的に知られています。日本には150種以上が生息していると推定されています。



### 生態

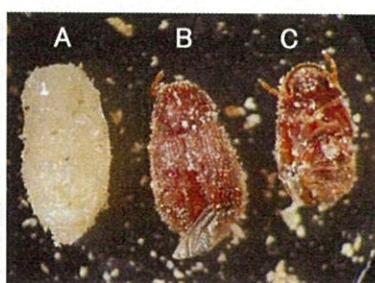
一般家庭で普通にみられる種は、ジンサンシバンムシとタバコシバンムシです。

ジンサンシバンムシは年1回から3回発生します。幼虫・成虫ともに乾燥した動物質や植物質を餌とします。成虫の寿命は、10日から20日ですが、冬期でも暖房の途切れることがない部屋では、年間を通じて発生がみられます。

タバコシバンムシは、関東周辺では5月から11月にかけて2回から3回発生し、夏期には約40日で成虫になります。成虫の寿命は20日前後です。成虫になると食物をとりません。

タバコシバンムシ 成虫

体長：2~3mm



ジンサンシバンム 蛹・成虫

体長：約2mm

A：蛹 B：成虫(背面)

C：成虫(腹面)



タバコシバンムシに  
食害された乾麺  
(丸い穴が多数みられる)

### 被害

ジンサンシバンムシは幼虫・成虫ともに、乾燥した粉類、乾燥麵類、生薬、乾果、乾魚などを食害します。

タバコシバンムシの食性はジンサンシバンムシと同様ですが、畳床に発生するのが特徴です。また、これらの幼虫にシバンムシアリガタバチ(\*1)という小さいハチ類の仲間が発生して、刺されることがあります。

(\*1: 次頁のシバンムシアリバチバチを参照)

### 防除

乾燥食品類を密閉容器に保管する習慣が大切です。虫が発生した食品は廃棄処分しましょう。

畳床に発生した場合には、害虫駆除業者に畳の加熱処理(58°Cで10分以上)を依頼するとよいでしょう。

# シバンムシアリガタバチ

…シバンムシ類に

寄生するハチ

## 生態・被害

シバンムシアリガタバチは、ジンサンシバンムシやタバコシバンムシの幼虫・蛹に産卵、寄生します。

卵は約1ヶ月で成虫になります。

羽化した成虫は活発に室内を這いまわり、就寝中のヒトを刺すことがあります。

刺されると、瞬間的に激しい痛みがあり、その部分を中心に赤く腫れ、痒みは1週間以上続きます。1ヶ月くらいの間、色素沈着が残ることが多いようです。

市販薬(抗ヒスタミン軟膏など)の痒み止め効果は一時的なため、激しい症状の場合には、医師の治療が必要です。

多発期は7月から9月の暑いときですが、年に数回の発生も報告されています。

シバンムシアリガタバチ 発生時期											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12



シバンムシアリガタバチ 成虫

体長：約2mm内外

(♀には翅がなくアリに似ている)



シバンムシアリガタバチ ♀成虫

体長：約1.5mm

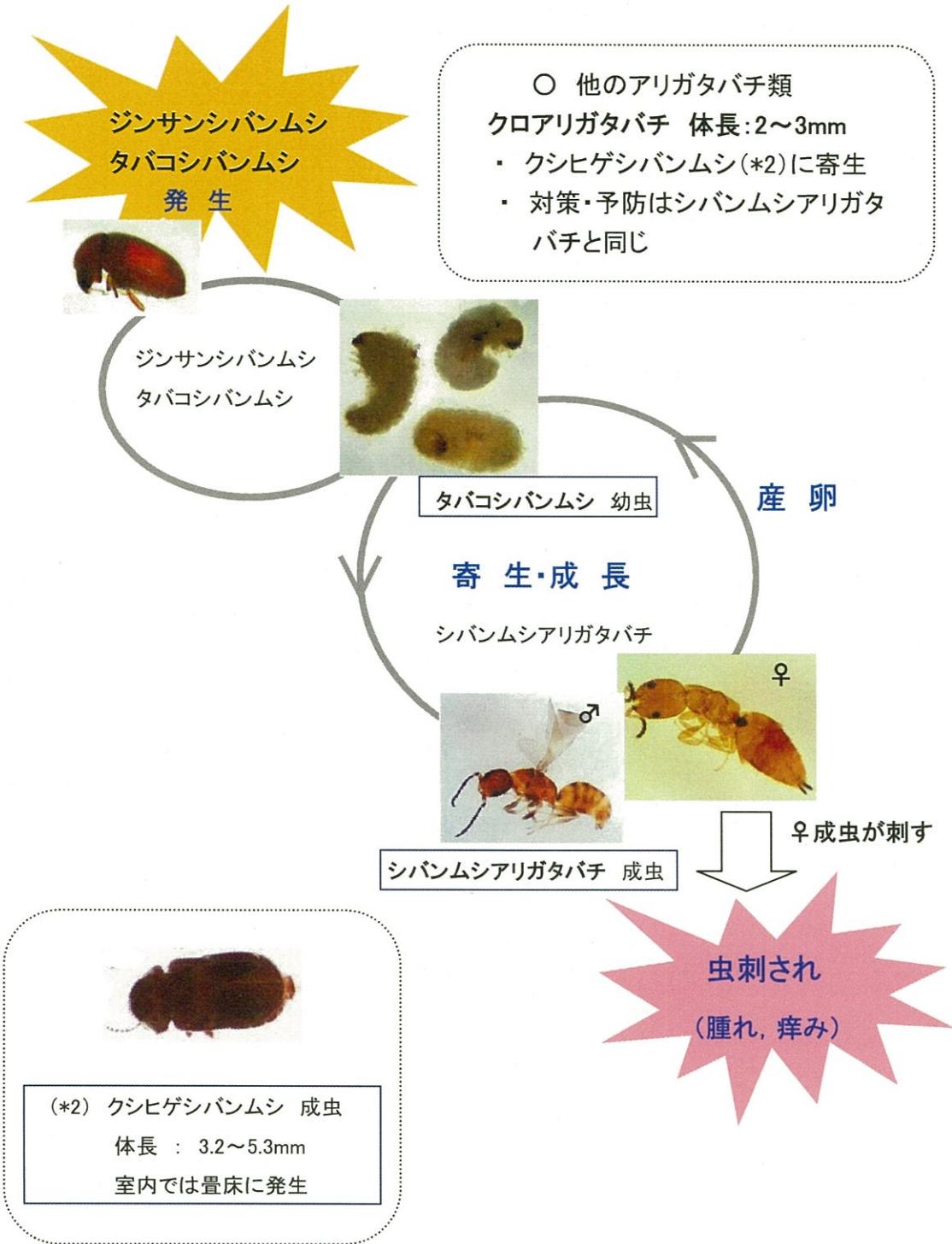
## 対策

ジンサンシバンムシアリガタバチ成虫は家庭用殺虫剤で駆除ができます。しかし、畳床の中に入いる幼虫までは殺せないため、成虫の駆除だけでは被害の防止は困難です。

害虫駆除業者に依頼して、フェニトロチオンやペルメトリシンの油剤を注入する方法や高周波による畳床の加熱処理が良いでしょう。

## 予防

発育に不可欠なシバンムシ類の発生を防ぐため、部屋の通風や畳床の乾燥などに留意することが必要です。



更に詳しい情報を知りたい場合は、以下の図書を参考にしてください。

- 1) 松崎 沙和子 武衛 和雄 著 : 都市害虫百科 (1993)
- 2) 日本家屋害虫学会 編 : 家屋害虫辞典 (1995)